

てんてん新聞



16. 6. No. 228
発行所 市田町
責任者 市田町
0883-88-5292

夏は来ぬ

ここ数年、各地で大きな自然災害が発生し、その上人災とも言える被害があるなど、世の中、なにが不安が……。それでも時は流れ、季節はめぐって来ます。何も無い、何事も起らない日常がこれ程、いいものだと実感出来る日々。ホタルの便りが里から届きはじめる。



ホタルブクロが咲きはじめる。わが家に残る祖谷の水田に北かはいりはじめ。あつちこつちで隣りどうし、知人達で協力しあひ茶摘みをする。夜明けと共にツツドリ、カッコーの音がする。野にはアカギの鳴り声も聞こえる。そして、そしてトキ

いよいよ、山も「夏近し」を感じる。こんな平々凡々な日常を喜ぶ。なによりも大切に、幸せ感に満ちてくれる。周囲をみれば、気になる事項も少ない。今日という一日が何事もなく終われることがなによりだ。

沖繩のことが気になる。が……。何も出来ずに時は流れる。市の職員さんらに熊本さん達に行つたというニュースも、あつかう知る。気になる……。夏になる……。祖谷という山の甲で生きる。と、気になるだけだ。



出逢うと嬉しくなる。アサキエダラも見えた。トニボも見かけた。雨の日はカエルの合唱が心地よい。雨の日は、大合唱。雨の日は、大合唱。雨の日は、大合唱。

剣山モイロ

日本百名山の一つの剣山。中腹までリフトがあり、頂上まで気軽に登れる。百名山でもあります。ごさから、多くの観光客が山を訪れ、オーバユースの問題の一つです。頂上に「不道」があるのも、その対策の一つと言えらる。その不道修理にむけて、モノレールの計画がある様で、関係者には話しかあつた様です。今までは、ヘリが資材を運んでいました。様々な問題はあつて、どうかが本当に必要なものであつたか。

